

ミシェル・ルピサン

2013年7月16日

ニュース4

タイトル： 大学生の海外留学「内向き志向」続く

要点： 「リクルート進学総研」が、全国の大学に進学した男女の3200人を対象した調査結果によると、「留学の意向がない」と答えた人は「ある」と答えた人を上回っており、学生の「内向き志向」が続いていることがわかった。「ない」と答えた理由はいくつかあったが、最も多く出た理由は「費用が高い」や「外国語が苦手」などである。そのため、奨学金を増やし、外国語の苦手意識をなくす必要があると話していた。

キーワード：

大学生：対象した人々。

留学：調査のテーマ

意向：意向がないというのは、留学するつもりがないということである。

内向き：学生の内向き志向が続いていることは問題になっている。

苦手意識：重要な、留学したくない理由。

選んだ理由：

「海外留学の意向」というのは、最近私が選んだインタビューのテーマ（海外就職）に似てるから、読んでみたいと思った。

新しく学んだ語彙・発現：

新しく学んだ語彙は、「依然として」という言葉である。記事でよく書いてあり、ニュースでよく使われそうな言葉だから、覚えておきたいと思う。